



## ヴァンラーレ八戸

# スタジアムが学びの場に『School Trip Day』 1/2

地域の未来を担う子どもたちに、楽しみや希望、夢、そして地元への愛着を届けるプロスポーツのスタジアムが学びの場に。

ホームタウンの小中学生を対象に、「School Trip Day」として社会科見学&遠足を実施。約850名が参加し、地域企業との協力による職場体験や試合観戦を通じて、子どもたちはプロスポーツチームの活動や地域とのつながりを身近に感じながら学ぶことができました。チームの存在価値や地域社会に果たす役割を身近に感じる貴重な機会となりました。今後も教育的価値の提供と地域連携の推進を目的に、持続的な活動を展開していきたいです。



活動場所 プライフーズスタジアム



協働者

行政、企業、住民、学校、学生、ファン・サポーター、スタジアム、選手、ボランティア、病院、プロスポーツクラブ

協働者名

エプソンアトミックス株式会社、株式会社デーリー東北新聞社、株式会社吉田産業、明治安田生命保険相互会社八戸支社、株式会社高橋林業、株式会社タカサキ興業、青森県立種差少年自然の家、JR八戸駅、株式会社アケア、八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部、青森県八戸警察署、防衛省自衛隊青森地方協力本部八戸地域事務所、八戸赤十字病院、第一貨物株式会社、SANWINDS Athletic Club、損害保険ジャパン株式会社、株式会社ビーシーデポコーポレーション、OLED青森株式会社、八戸市教育委員会社会教育課、八戸市、三沢市、十和田市、階上町、おいらせ町、三戸町、五戸町、六戸町、七戸町、南部町、東北町、横浜町、田子町、野辺地町、新郷村、六ヶ所村、ホームタウン16市町村教育委員会、参加小学校・中学校



協働者の声

エプソンアトミックス株式会社 / 増川 聖斗 氏



地域とのつながりや子どもたちの成長を大切にこの企画の目的に共感し参加しました。様々な体験に挑戦する子どもたちの笑顔や一生懸命さに触れ、とても元気をもらいました。地域企業やヴァンラーレと一緒に、これからも地域を盛り上げていきたいと感じた素敵な体験でした。



活動詳細情報

- 1 [デーリー東北](#)
- 2 [Jリーグ公式応援番組チャンネルYouTube](#)
- 3 [Web東奥](#)
- 4 [公式X①](#)
- 5 [公式X②](#)
- 6 [公式X③](#)



カテゴリ(SDGs) / 取り組みテーマ





ヴァンラーレ八戸

## スタジアムが学びの場に『School Trip Day』 2/2

## Story

青森県の人口減少率は全国2位。ホームタウン16市町村には、現在約3万人の小中学生が在住しています。これからこのまちを担っていく子どもたちに、私たちができることは何か。

9月26日鹿児島ユナイテッドFC戦。授業の一環として、ホームタウンの小中学生約900名がスタジアムに集まりました。試合観戦を通じて教育的な価値を伝え、社会科見学のように学びの場の多様性を体験してもらうこと。そして、自分たちの住む地域にプロスポーツチームがあることを知るきっかけになったのではないかと思います。



ドローン操作体験、伐採体験、家の設計体験、医療や介護の体験、警察や消防、大型車両などの展示、昔の遊びやニュースポーツの体験、サッカー教室など20か所の体験ブースで子供たちは様々な体験と思い出を重ねました。

パートナー企業様をはじめとした地域企業のご協力を得て昨年より体験ブースが増え、職場体験の場となり、子どもたちだけではなく、ご協力いただいた企業の皆さまの笑顔も会場に溢れました。

午後からは子供たちが一番楽しみにしていた試合観戦。子どもたちは一つひとつのプレーに目を輝かせ、試合が進むにつれ立ち上がって声援を送ったり、応援グッズを手に応援したりする姿が見られました。

選手のシュートが決まると大きな歓声が上がり、スタジアム全体が揺れるような盛り上がりを見せました。会場は終始、子どもたちの大きな声援に包まれていました。

選手たちのプレーを間近で見ることで、子どもたちにとってサッカーや選手がより身近な存在となり、心に残る観戦体験になったのではないかと思います。



試合観戦や職業体験、子どもたちの笑顔だけでなく、真剣な表情に取り組む姿も見ることができました。スタジアムが学びの場となり、さまざまな価値を子どもたちに伝える機会になりました。今後も子どもたちへの教育的な価値の提供と地域との連携を大切にしながら、持続的に活動を続けていきたいと思っています。